



八千代座前が「夢小蔵」
明治20年建築の蔵
八千代座の資料館です。
見学申し込みはここで。



熊本市に次いで県内
二番目の明治41年に
電話が開通しました。
この広告にも電話番号
が記載されています。



八千代座のロゴ



真ん中にカタカナのヨ
まわりにチが八つで
八千代を表している瓦

舞台左側（下手）に
本花道やすっぽん
があります。



晴天！
暑い暑い午後
八千代座前
夢小蔵に集合

天井中央に豪華なシャン
デリアがあります。
当時はガス灯でした！

色鮮やかな広告画は
見るだけで楽しい！

井口商店・屋号が木屋
と書かれています、
木屋本店として今も続
いているお店です。



平成30年度くまもと県民カレッジ主催講座（前期）

「音楽」コース 第5回

「気楽にカンゲキ！！ ～劇場デビューの心構え～」

講師 山鹿八千代座・案内人

明治43年につくられた芝居小屋

国指定重要文化財 見学してきました！



四角に区切った枱席

広い枱には8人 狭い枱には4人
建築当時の定員は
一階が830人、二階が444人
合計1274人でした！
今はもっとゆったりと座って
650人収容です。

奈落（ならく）
も見学できます

通路土台は石垣
で、肥後の石工
の技術がここにも



ぬしは山鹿の
骨なし灯笼 ヨヘホ～

よおっ
日本一！



八千代座は劇場ではなく
芝居小屋です。
演者に掛け声をかけましょう！
舞台と客席が盛り上がりますよ。



提灯一つ一つにも
八千代座を支える
お店の名前入り

お大尽気分
の受講生！



楽屋

窓側に台があり
出演者は自然光
で化粧していた
そうです。

舞台右側（上手）の二階席が
花道やすっぽんも良く見えて
一番席料が高かった場所です。
上手桟敷はお得意様席でした。



舞台の左右の席を
桟敷席と言います。

二階の前方三方の手すりは
朱漆塗りで豪華絢爛でした。



八千代座年表

明治43年	山鹿実業界が八千代座組合 をつくり設立を決定
明治44年	こけら落とし公演
昭和40年代	経営不振で閉鎖
昭和55年	八千代座組合から市に寄付
昭和61年	八千代座復興期成会発足
昭和63年	国重要文化財指定
平成1年	一般公開と活用の開始
平成13年	二度目のこけら落とし公演



手まわしの廻り舞台
ドイツ製の滑車を使っ
て、4人でまわします。